

平成29年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成29年4月1日～平成30年3月31日

施 設 名	大和市深見中児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター深見中会館管理運営委員会 会長 大川原 功
指 定 期 間	平成29年4月1日～平成34年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

- ・児童館施設の承認に関する業務

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合 計	1日平均 (人)	開館日数
深見中	96	2,856	222	313	3,487	11	306

- ・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで（月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く）職員1名以上の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・自主事業の計画及び実施（主な事業）

事 業 名	開催期間	参加者数
新一年生歓迎会（リズムあそび・自衛消防訓練他）	4/23	141 人
母の日工作（毛糸のシュシュ）	4/27～5/13	33 人
父の日工作（いやしのメガネメッセージカード）	6/3～18	35 人
七夕のつどい（防犯映画上映・うた・ゲーム他）	7/2	181 人
夏の工作（国旗のブローチを作ろう）	7/21～8/22	21 人
敬老会プレゼント工作（ヤマトンの綿棒デコレーションケーキ）	8/22～8/31	12 人
おたのしみ週間（お月見のお話と日本昔話の映画会）	9/19～22	20 人
ハロウィン週間（ハロウィンバスケット作り）	10/10～15	25 人
ふれあい広場（深見大和地区民児協と共催・プラバン工作）	10/15	225 人
クリスマス工作（ミニリース付きクリスマスカード）	11/15～11/29	25 人
クリスマス会（歌・演劇）	12/13	205 人
節分週間（ストラックアウト・くじ引き）	1/30～2/4	17 人
ひなまつり工作（飾りびな）	2/21～3/3	21 人

【事業実施状況に関する補足説明】

特になし

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,640,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,459,255
雑入 (預金利息等)	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	180,745
収入計 (①)	2,640,000	支出計 (②)	2,640,000

収支決算	0
------	---

【収支決算に関する補足説明】

特になし

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成30年3月に利用者アンケートを実施し、平成29年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用事務については、条例等に則り適切に行なわれています。 毎月の指導員連絡会会議後に指導員全員でミーティングを行い、議事録も作成し職員が一貫した認識を共有した上でサービスを提供している点を評価します。 日頃の事業については、「児童館だより」の発行や児童館のホームページを定期的に更新する、行事ごとに自治会の掲示板に掲示する等、幅広く事業を周知させ、サービス向上に取り組んでいる点を評価します。 利用者アンケートにおける「スタッフの対応」について、優しいという声が多数であった一方、少数ながら、「怖い人がいる」という声があることから、明るい雰囲気作りについてもより一層心がけてください。
評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
<ul style="list-style-type: none"> 様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 利用者アンケートにおいて、児童館で楽しみにしていることとして、「卓球」と回答している割合が84.0%（全館平均58.4%）と市内児童館の中でも最も高い中、物を大切にしながら利用者が楽しく卓球利用を継続できるように努めている点を評価します。 1週間単位の自主事業である「お楽しみ週間」を年に4回設け、より多くの児童が参加しやすい形で事業運営するとともに、児童とのコミュニケーションを増やす機会としている点を高く評価します。
評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> 日常の清掃が適切に行なわれる等、施設を維持するための取り組みが見られます。 手洗い・消毒の習慣を館内の独自のルールとし、声掛けを継続的に行ない浸透させる等、生活指導に力を入れている点は評価します。
評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断しています。 指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。